

リスクを知る 避難を考える

とるべき避難行動

洪水の場合

3m以上の浸水想定区域内にお住まいの人

- 2階以上が浸水
- 1階の家財道具などに被害

0.5m~3mの浸水想定区域内にお住まいの人

- 家屋が床上浸水
- 自動車走行が困難

0.5m未満の浸水想定区域内にお住まいの人

- 床下浸水(大人のひざ程度)
- 歩行が困難

立退き避難(水平避難)

- 指定緊急避難場所
- 近所の安全な場所(親戚の家など)



屋内安全確保(垂直避難)

- なるべく高い場所
- がけから離れた場所



土砂災害の場合

土砂災害警戒区域の中または周辺にお住まいの人

- 土砂災害が発生するおそれが非常に高い
- 前兆現象を感じたらすぐに避難する必要がある

今後の情報に注意

土砂災害警戒区域の外にお住まいの人

- むやみに外に避難するのはかえって危険
- 油断は禁物(小規模の土砂災害のおそれあり)

ここがポイント!

- 「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。

- 実際に災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。

- 過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。

- 夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近が予想される場合は、明るい時間帯での避難を呼びかけます。早めの避難行動を心がけてください。

我が家への安全対策

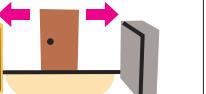
安全と思われる家の中や家のまわりに置いてある物でも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすことがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策

- 飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。



- 出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。



- 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。



- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。



- 重たい荷物は高い所に置かず、床に置いておく。



- タコ足配線やコードを束ねて使用しない。



- 住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。



家の外の安全対策

アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。
瓦の割れ、ずれ、はがれはないか。トタン屋根のめくれ、はがれはないか。

電気の引込線のたるみや破損があったら、電力会社に連絡する。

窓枠のがたつきはないか。ひび割れはないか。

外壁に亀裂はないか。

物干し竿、植木鉢、自転車などが風で飛ばされないようにする。

プロパンガスボンベが固定されているか。

ブロック塀にぐらつきや亀裂はないか。

農業用水路や排水溝(下水溝)、雨どいのゴミや泥、落ち葉や土砂を取り除き、水はけを良くしておく。

非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品・備蓄品の準備は防災対策の基本です。リストを参考に、家族構成に合わせて準備しましょう。

また、食品の賞味期限や電化製品の故障がないかを定期的にチェックすることも忘れずにしましょう。

チェック 非常持出品

避難するときに持ち出す最小限の必需品です。あまり重いと避難に支障があるので、必要最小限にまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。

ヘルメット・防災ズキン
落下物から頭を守るために必要な必需品



リュックサックなど
非常持出品を入れて両手が確保できるものがよい



貴重品
預金通帳、健康保険証、マイナンバーカード、免許証(番号を控えたメモかコピー)、現金



□非常食

缶入り乾パンなど、火を通して食べられるもの



□携帯ラジオ

※予備の電池も必要



□急救医薬品・常備薬

キズ薬、ばんそうこう、その他の薬など



□水

持ち運びに便利なペットボトル入り



□懐中電灯

※予備の電池も必要



□生活用品

衣類、軍手、ナイフ、ライター、缶切り、簡易トイレ、タオル、雨具など



チェック 非常備蓄品

被災後の数日間を乗り切るためのものです。

最低でも3日間は自足できるだけの量を用意しておきましょう。

□非常食

缶詰やレトルト食品など、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの



□生活用品

カセットコンロ・ガスボンベ、毛布、衣類、トイレットペーパー、ドライシャンプー、ビニール袋など



□水

飲料水と生活用水を用意する(飲料水は1人1日3リットルが目安)



□工具類

家屋が倒壊した場合などに備えて、救出活動に使えるスコップやバール、のこぎり、ロープ、車のジャッキなど



家族構成に合わせた準備

非常持出品・備蓄品は、アレルギーに対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。



ローリングストック法

保管している非常食などを定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ということができます。

